

平成14年度の科学技術振興調整費の配分方針

平成14年4月23日
総合科学技術会議

平成14年度の科学技術振興調整費の配分については、「科学技術振興調整費の活用に関する基本方針」(平成13年3月22日総合科学技術会議決定)及び「平成14年度の科学技術振興調整費の配分の基本的考え方」(平成14年1月30日総合科学技術会議決定)(以下「配分の基本的考え方」という。)に基づき、以下のとおりとすることが適当である。

平成14年度から新規に実施するプログラム

1 優れた成果の創出・活用のための科学技術システム改革

1 - 1 産学官共同研究の効果的な推進

(1) 配分予定額

28億円

(2) 留意すべき事項

提案機関や分野にかかわらず、大学、独立行政法人等の研究開発機関の研究シーズと民間企業の研究ニーズの積極的なマッチングの推進に資する内容のものを選定する。

平成14年度に継続して実施するプログラム

1 優れた成果の創出・活用のための科学技術システム改革

1 - 1 戦略的研究拠点育成

(1) 配分予定額

20億円（新規選定分）

(2) 留意すべき事項

優れた成果を生み出し、新しい時代を拓く研究開発システムの実現に資するものを選定する。なお、選定に当たっては、国立試験研究機関・独立行政法人研究開発機関にも配慮する。

1 - 2 若手任期付研究員支援

(1) 配分予定額

5億円（新規選定分）

(2) 留意すべき事項

提案者が所属する機関や分野にかかわらず、特に優れた提案内容のものを選定する。

1 - 3 科学技術政策提言

(1) 配分予定額

2億円（新規選定分）

(2) 留意すべき事項

「配分の基本的考え方」において示した各課題について、必要に応じて提案内容の調整を図る等により、適切なものを選定するように配慮する。

2 将来性の見込まれる分野・領域への戦略的対応等

2 - 1 先導的研究等の推進

(1) 配分予定額

新たな領域の創成が期待される先導的な研究開発
14億円（新規選定分）

自然科学と人文・社会科学とを総合した研究開発
3億円（新規選定分）

緊急に対応を必要とする研究開発等
3億円（新規選定分）

(2) 留意すべき事項

提案機関や分野にかかわらず、特に優れた提案内容のものを選定する。

2 - 2 新興分野人材養成

(1) 配分予定額

バイオインフォマティクス（システム生物学を含む）
及びバイオスタティスティクス

4 億円（新規選定分）

基盤的ソフトウェア

2 億円（新規選定分）

計算機を活用した物質・材料・プロセス開発

2 億円（新規選定分）

知的財産（保護・活用に関する、社会科学と科学技術との両面にまたがる領域）

2 億円（新規選定分）

(2) 留意すべき事項

「配分の基本的考え方」において示した対象分野のうち、
バイオインフォマティクス（システム生物学を含む）
及びバイオスタティスティクスについては、両者の課題
を選定するように配慮する。

3 科学技術活動の国際化の推進

3 - 1 我が国の国際的リーダーシップの確保

(1) 配分予定額

2 億円（新規選定分）

(2) 留意すべき事項

提案機関や分野にかかわらず、我が国の国際的な科学技術活動におけるリーダーシップの発揮に資する提案内容のものを選定する。

(参考)

平成14年度科学技術振興調整費の予算

(単位：億円)

	13年度 予算額	14年度予算額		
		14年度 継続分	14年度新規選定分	
<u>14年度新規プログラム</u> 産学官共同研究の効果的な推進	-	<u>28</u> 28	-	28
<u>13年度から継続しているプログラム</u>	<u>93.1</u>	<u>146.1</u>		
戦略的研究拠点育成	30	40	20	20
若手任期付研究員支援	10	15	10	5
科学技術政策提言	2	4	2	2
先導的研究等の推進	39	63	43	20
新興分野人材養成	9.1	19.1	9.1	10
国際的リーダーシップの確保	3	5	3	2
<u>経過措置</u> 12年度以前のプログラムに属する研究開発課題のうち、継続分	<u>246</u>	<u>186.9</u>		
評価の実施・成果の普及	4	4		
合 計	<u>343.1</u>	<u>365</u>	87.1	87

(注)「14年度予算額」の欄の「14年度新規選定分」(網掛け部分)の配分予定額は、公募状況等を踏まえ、今般の「平成14年度の科学技術振興調整費の配分方針」において決定。